

基本目標Ⅴ

市民とともに創る自立分権都市

政策の基本方向 21 個性豊かな地域コミュニティをつくれます

- | | |
|--------------------------|-----|
| 施策 47 分権型のまちづくりの推進 | 142 |
| 施策 48 皆で担うまちづくりの推進 | 144 |

政策の基本方向 22 行政サービスの質の向上を図ります

- | | |
|--------------------------------|-----|
| 施策 49 行政サービス提供体制の充実 | 146 |
| 施策 50 市民と行政のコミュニケーションの充実 | 148 |



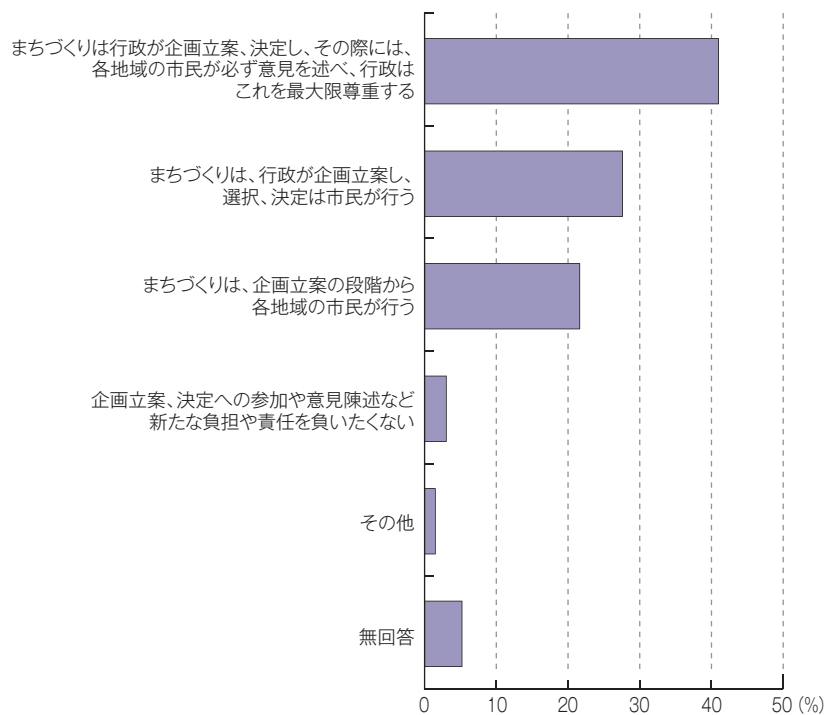
施策 47 分権型のまちづくりの推進

課題と展望

これまでの、都市内分権の検討をはじめ、地方分権に対応したまちづくりへの取り組みを踏まえ、今後は、区制を生かし、地域のまちづくりや身近な課題の解決のために、地域の特性を反映した、地域の個性が光るまちづくりを実現していく必要があります。

このため、区役所やまちづくりセンターを中心に、区民が自主性と主体性を発揮しながら、ともに、地域の特性を生かして、まちづくりを進めていくことが必要です。

●市民が主体的にまちづくりを行う仕組みとして望ましいと思うこと（1つ選択）



【出典】新しい総合計画策定のための市民アンケート

- 地域特性が発揮されるまちづくりが区民主体で進められている。

取 り 組 み の 方 向

1 区制による分権型の行政体制の推進

区役所やまちづくりセンターを地域のまちづくりにおける拠点とし、地域の特性を生かした施策の実現に取り組めます。

2 区制を生かしたまちづくりの推進

区民会議の設置やまちづくり会議の支援など区民が主体的に参加し、協働してまちづくりを進める仕組みの構築により、各区、各地域の個性や特徴を生かした市民協働によるまちづくりの推進に努めます。

主 な 事 業

- 区政推進事業

成 果 指 標

指標と説明	単位	基準値 [平成20年度]	中間目標 [平成26年度]	最終目標 [平成31年度]
【指標 86】住んでいる地域のまちづくりや課題解決を区民主体で進めていると感じる市民の割合 ⇒区制により、区民主体のまちづくりができているかを見る指標	%	49.5	52.5	54.7
目標設定の 考え方	市民アンケート調査で「進められている」、「ある程度は進められている」と回答する人が毎年約0.5ポイント増加することを目標として設定しました。 [出典]「市民アンケート」			



施策 48 皆で担うまちづくりの推進

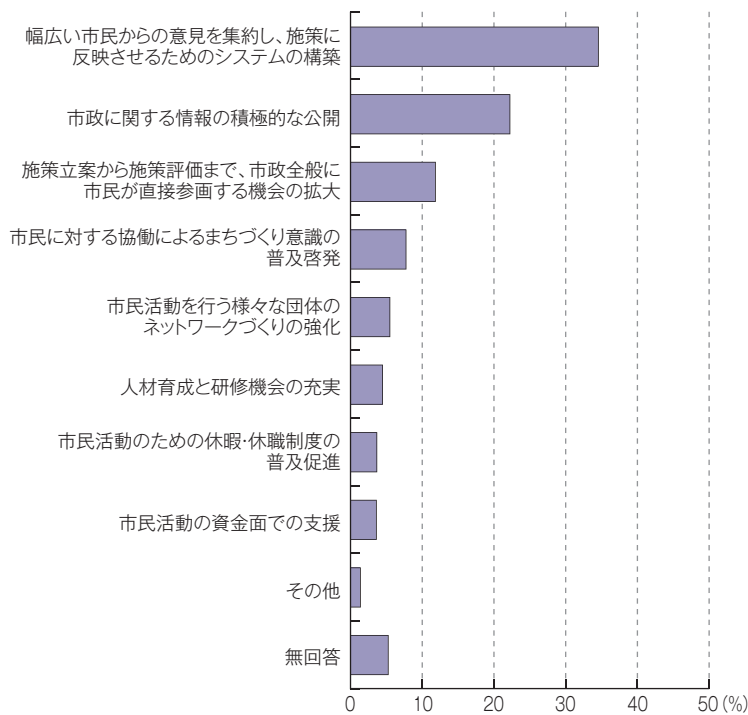
課題と展望

防犯や防災、環境美化や福祉など地域を取り巻く課題が複雑化し、地域活動の重要性が高まってきている一方で、市民のライフスタイルや家族構成などの多様化に伴い、地域活動に対する個人の意識や行動も変化し、市民のつながりが希薄化しています。

こうしたなか、市民の創意と工夫にあふれる住みよいまちづくりを実現するためには、地域における活動が活性化することや、公益的な事業に取り組むNPOなどの活動基盤を強化していくことが求められています。

このため、自治会やNPOなどの活動が、様々な分野において活発に行われるよう支援の充実を図るとともに、専門的な知識を持つ大学や企業などと連携してまちづくりに取り組むことができる環境づくりを進めていく必要があります。

●市民と行政の協働のまちづくりの推進のために市がすべきこと（1つ選択）



【出典】新しい総合計画策定のための市民アンケート

- 地域団体（地縁団体）が活発に活動できている。
- 市民活動団体が活発に活動できている。

取 り 組 み の 方 向

1 地域活動の促進

地域生活における課題の解決など、公益的な役割を担う自治会をはじめ、地域のまちづくり活動を行う団体を積極的に支援します。

2 NPOなどの市民活動の促進

各分野で専門性の高い活動に取り組むNPOなどの活動を支援します。

3 様々なまちづくりの担い手の連携促進

大学や企業などを含め、地域に関係するあらゆる団体や個人が、その特性を生かしてまちづくりの輪に参加し、様々な活動に取り組むことができるよう、担い手どうしの連携を支援します。

主 な 事 業

- (仮称)市民・大学交流センターの整備・運営
- 地域活動促進事業
- パートナーシップ推進事業

成 果 指 標

指標と説明		単位	基準値 [平成20年度]	中間目標 [平成26年度]	最終目標 [平成31年度]
【指標 87】 地域活動への参加率 ⇒地域団体が活発に活動しているかを見る指標		%	30.4	34.3	37.4
目標設定の 考え方	市民アンケート調査で「よく参加している」、「ときどき参加している」と回答する人が毎年約0.6ポイント増加することを目標として設定しました。 [出典]「市民アンケート」				
【指標 88】 市民活動への参加率 ⇒市民活動団体が活発に活動しているかを見る指標		%	12.0	14.2	16.1
目標設定の 考え方	市民アンケート調査で「参加をしている」と回答する人が毎年約0.4ポイント増加することを目標として設定しました。 [出典]「市民アンケート」				
【指標 89】 市内のNPO法人数 ⇒NPO活動が活発に行われているかを見る指標		団体	166	220	270
目標設定の 考え方	県の認証実績数等を踏まえ、毎年約10団体増加することを目標として設定しました。 [出典]「届出件数」				

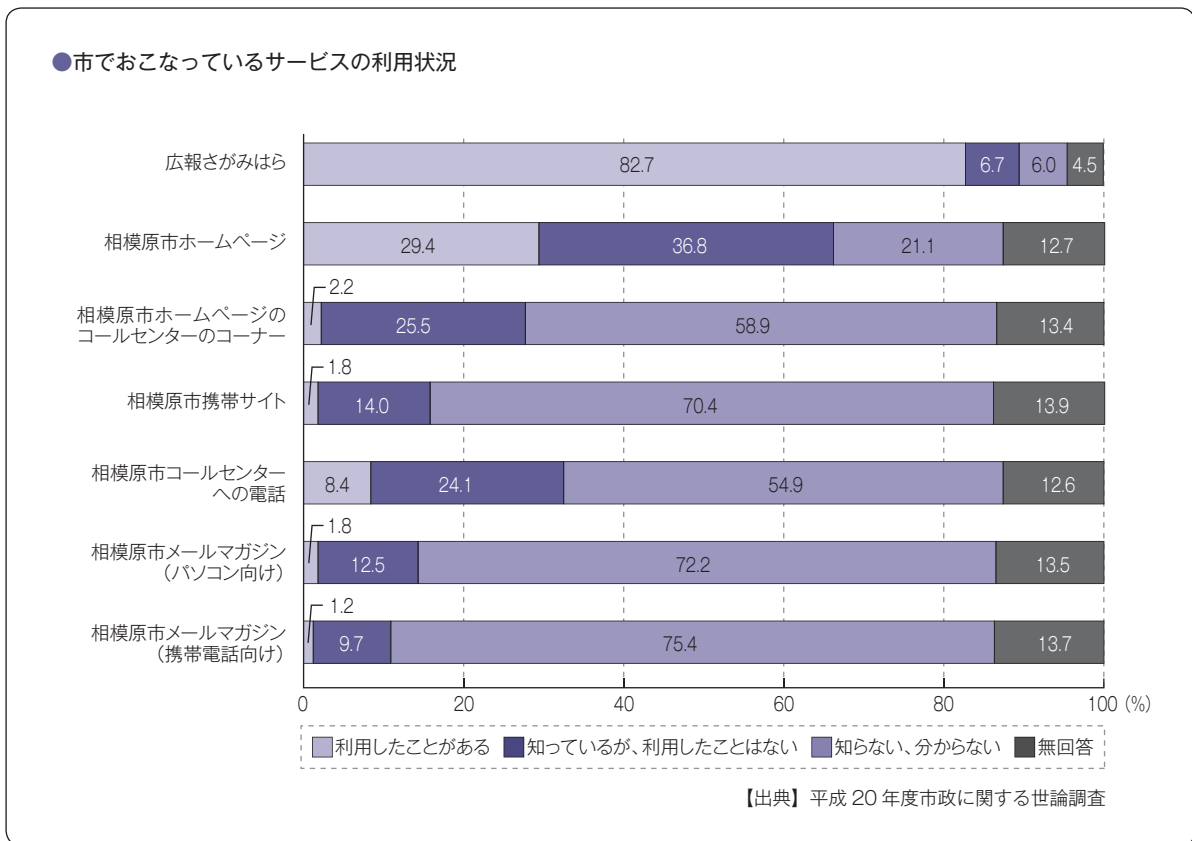


施策 49 行政サービス提供体制の充実

課題と展望

市民の生活スタイルの変化とともに、行政へのニーズも多様化しているなかで、市民が必要とするサービスを利用しやすい方法で提供することが求められています。

このため、市民のニーズを的確に把握し、それらを行政サービスに反映させることにより、地域の特性を踏まえたきめ細かなサービスを提供していくとともに、市民に身近な場所でサービスが完結する体制を構築する必要があります。



- 市民が求めている行政サービスを必要なときに身近な場所で受けることができる。

取 り 組 み の 方 向

1 区役所などにおけるサービスの充実

市民が必要とする生活にかかわりの深い行政サービスを区のエリアで提供することができるよう、区役所や本庁出先機関などの機能の充実を図ります。

2 市民が利用しやすいサービスの充実

利用者の視点に立ち、市民が必要とするサービスを利用しやすい形で提供することができるよう、行政サービスの充実を図ります。

主 な 事 業

- コールセンター運営事業
- 土曜日開庁窓口の拡大
- 住民票等広域発行サービス事業



コールセンター

成 果 指 標

指標と説明	単位	基準値 [平成20年度]	中間目標 [平成26年度]	最終目標 [平成31年度]
【指標 90】 求めている行政サービスが、必要なときに身近な場所で受けることができていると感じる市民の割合 ⇒市民にとって利用しやすい行政サービスが提供されているかを見る指標	%	85.9	88.0	90.0
目標設定の考え方	比較的高い満足度が得られていることから、10人中9人の満足を得られることを目標として設定しました。 [出典]「市民アンケート」			



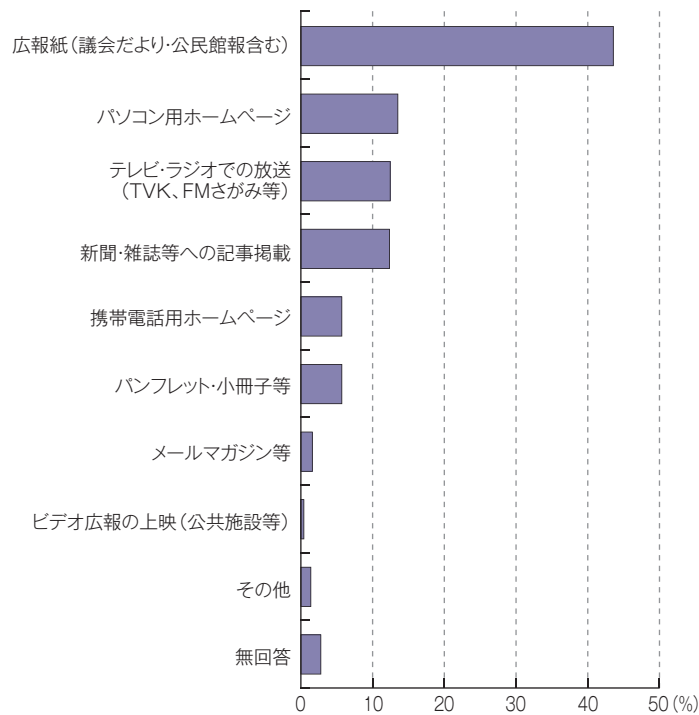
施策 50 市民と行政のコミュニケーションの充実

課題と展望

行政サービスの質を向上させるためには、様々な情報のなかから市民ニーズを的確に把握し、迅速にサービスに反映することや、市民からの提案を政策や施策に反映するための仕組みをつくり、市民が市政に参加する機会を充実させる必要があります。

このため、市民の声を聴く機会や相談の機能を充実させるとともに、行政の持つ様々な情報を多様な広報媒体を活用して効果的に市民に伝え、理解を得ていくなど、市民と行政のコミュニケーションを活性化する必要があります。

● 今後充実すべき情報発信手段（1つ選択）



【出典】新しい総合計画策定のための市民アンケート

- 市民が市政に意見を言うことができる機会や手段が整っている。
- 市の活動を市民が理解できるような情報提供が行われている。

取 り 組 み の 方 向

1 広聴・相談体制の充実

市民が必要とする、市民が満足する行政サービスを提供するために、より積極的に市民の声を聴く体制の整備や、コミュニケーションの活性化を図ることにより、市民の声を迅速かつ的確に反映します。

2 情報発信力の強化

広報紙をはじめ、ホームページ、テレビ・ラジオなどの多様な媒体を活用した情報発信力の強化を図り、市民への迅速かつ効果的な情報提供や、政策形成過程などの行政情報の積極的な公開を進めます。

主 な 事 業

- 広聴事業
- 広報事業



政令指定都市移行に向けての市民説明会

成 果 指 標

指標と説明		単位	基準値 [平成20年度]	中間目標 [平成26年度]	最終目標 [平成31年度]
【指標 91】 市政に意見を言える機会や手段が備わっていると思う市民の割合 ⇒市民が市政に意見を言うことができる機会や手段が整っているかを見る指標		%	69.1	71.1	72.7
目標設定の考え方	市民アンケート調査で「十分」、「どちらかといえば十分」、「ふつう」と回答する人が毎年約0.3ポイント増加することを目標として設定しました。 [出典]「市民アンケート」				
【指標 92】 市からの情報提供の手段や内容に満足している市民の割合 ⇒市民が、市の活動を理解できるような情報提供が行われているかを見る指標		%	92.5	94.0	95.0
目標設定の考え方	比較的高い満足度が得られていることから、5年ごとに「不満」、「どちらかといえば不満」と回答した人の約20%が「満足」、「どちらかといえば満足」、「ふつう」と回答することを目標として設定しました。 [出典]「市民アンケート」				

みらいのさがみはら ～こんなまちになってほしい～



小・中学生作文・絵画コンクール 中学生 絵画の部 優秀賞 鳥屋中学校3年(当時) たかはし ゆみ 高橋優美さん